

## 放牧時の併給飼料給与水準が黒毛和種育成牛の発育に及ぼす影響

畜産試験場肉牛飼養科 齋藤早香

### 試験目的



### 試験方法①

供試家畜：黒毛和種去勢牛16頭  
(放牧開始時；13週齢、89.2±15.3kg)

試験処理：併給飼料給与量2水準  
40gDM/MBS (40g区) vs 50gDM/MBS(50g区)

放牧期間：2007年5月14日～10月9日 (21週間)

供試草地：メドウフェスク (ノリサカエ) 主体

放牧方法：滞牧日数2～3日の短期輪換放牧

### 発育

	40g区	50g区
開始時体重(kg)	88.6	89.8
終了時体重(kg)	204.4	212.8
日増体量(kg)	0.81	0.85
体高の伸び(cm)	17.1	16.9
体長の伸び(cm)	27.9	26.9

## 畜試のこれまで研究で・・・

放牧育成時における配合飼料給与量 (乾物) の違いが発育に及ぼす影響

**50gDM/MBS = 65gDM/MBS**

(DM：乾物、MBS：代謝体重 (体重の0.75乗))

放牧育成時に併給する補助飼料中でのん粉粕サイレージの有無が発育に及ぼす影響

**てん粉粕給与≧配合飼料給与**

### 試験方法②

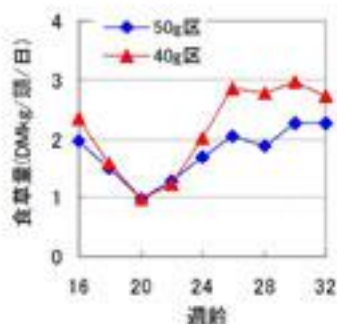
併給飼料の構成 (乾物ベース)

PPS (尿素添加)	50
メイズ	40
大豆粕	10
CP	14.0



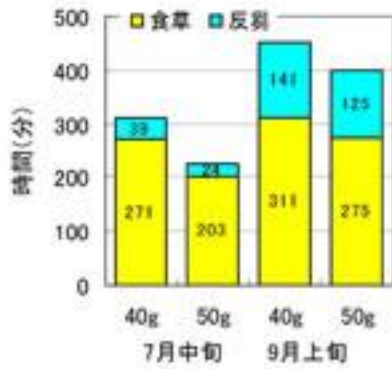
給与例 (40gDM/MBS での原物給与量)

体重	100	150	200
PPS	3.2	4.3	5.3
メイズ	0.6	0.8	1.0
大豆粕	0.1	0.2	0.2

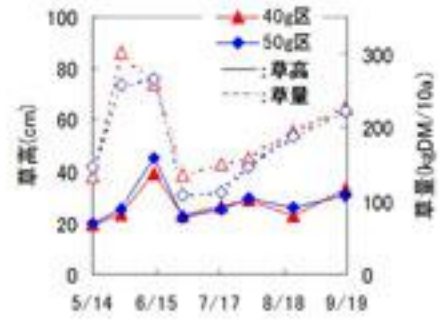


放牧草摂取量

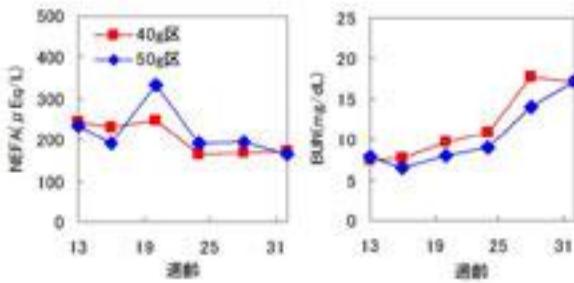
※ライシンプレートメーターで測定



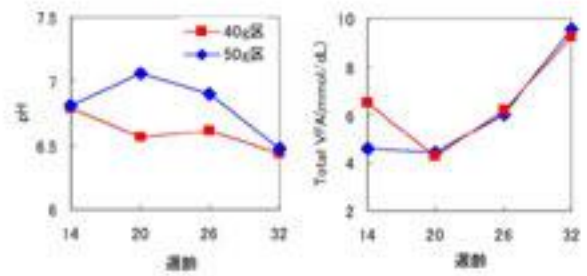
食草および反芻時間 (6:00~18:00)



草高・草量の変化



血中NEFA濃度およびBUN濃度



ルーメン内pHおよび総VFA濃度

